【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和４年度学校評価 計画

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	唐津市立成和小学校
1　前年度 評価結果の概要	・全職員で重点目標、取り組み内容及び現状・課題等を共有して実践を図ったことで、PDCAサイクルにそった組織的な取組ができたことは成果である。次年度の計画に当たっては、今年度の成果と課題を踏まえて、実効性のある具体的な取組や成果指標を設定する。 ・今年度もコロナ禍にあり、様々な教育活動の実践に影響があった一年であった。次年度もコロナ禍の現状は継続することが予想されるので、それを踏まえてコロナ禍にも対応できる具体的取組や成果指標を設定し、教育活動の展開を図りたい。 ・「学力の向上」に関しては、コロナ禍の現状を踏まえて、「主体的、対話的で深い学び」の視点に立った授業改善と指導方法の工夫に取り組んでいきたい。 ・次年度も引き続き重点目標として「不登校を生まない学校づくり」に取り組んでいく。不登校傾向の児童は増加の傾向にあり、早期発見・組織的な対応について一層の取組強化を図っていく。
2　学校教育目標	【学校教育目標】「ハート」「パワー」「チャレンジ」 あたたかく、力強く、目標にチャレンジする　成和っ子の育成
3　本年度の重点目標	【本年度の教育課題と最重点内容】 （1）確かな学力の定着　（2）学級経営の充実　（3）豊かな心の育成　（4）生活指導の充実（5）不登校・いじめ・問題行動等への指導 （6）教育相談・特別支援教育の充実（7）健康・安全教育の充実　（8）開かれた学校づくり

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組 評価項目	重点取組 取組内容	重点取組 成果指標 （数値目標）	具体的取組	中間評価 進捗度（評価）	中間評価 進捗状況と見通し	最終評価 達成度（評価）	最終評価 実施結果	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 意見や提言	主な担当者
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・授業では、本時のめあて（目標）とまとめ（学習内容）を確認したり記述したりするようにする。		・		・		・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳授業の充実に努め、他者を思いやろうとする児童を80%以上にする。	・がん教育推進の一環として、児童が人それぞれの立場に立って考える活動を適宜取り入れる。 ・各授業の指導過程に交流（対話）活動を取り入れる。		・		・		・	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○早期発見・早期対応を行い、児童間トラブルの未解決事案0を目指す。	・5・9・10（11）・1・2月に、心のアンケートをとり、実態把握を行う。 ・気になることは、担任・学年グループ・校長・教頭・生活指導担当・養護教諭などでチームを作り、学校として解決にあたる。		・		・		・	
	○魅力ある学校づくり	○にこにこ挨拶ができたと感じる児童80%をめざす。 ○不登校児童への組織的対応に努め、不登校児童2パーセント以下を目指す。 ○児童を主体とした魅力ある集会活動を計画し、学校の一員として、集会活動に進んで取り組むことができたと回答した児童が80%以上	・学期はじめの生活目標に「あいさつ」を入れて、相手も気持ちよくするにこにこ挨拶を心がけさせる。 ・心のアンケート、遅刻・早退・欠席状況などから、実態把握に努める。 ・スクールカウンセラーとも連携を図り、担任・学年グループ・校長・教頭・生活指導担当・養護教諭などでチームを作り、学校として児童理解にあたる。 ・児童が主体的に取り組むことができるような集会（行事）を、学期に1回実施。 ・集会に向けて、児童が意欲的に参加することができるような話し合いの場の設定。 ・集会に関する振り返りアンケートの実施。		・		・		・	
●健康・体つくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上 ○衛生検査の実施（各検査項目90%以上） ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・外遊びの奨励と環境づくり。 ・持久走大会、縄跳び大会に向け、昼休みに時間を確保し、取り組ませる。 ・体育委員を中心に昼休みにスポーツチャレンジの取り組みを行い、体力向上に努める。 ・衛生検査を行い、清潔さを保てるように指導する。 ・給食時間に栄養教諭と養護教諭が学級を回り、給食マナーができているかを確認する。担任は給食マナーに関する掲示物を黒板に貼り、正しく食べるように呼びかける。		・		・		・	
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故・犯罪被害を0（ゼロ）にする。	・地域の方と協力しながら、朝の交通指導を行う。 ・年度初めに、交通安全指導・自転車の乗り方の指導を行う。 ・低学年は集団下校を行い、他学年は下校時刻を揃えて下校させる。 ・防犯意識を高めるために、安全集会を行う。		・		・		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定し、職員に積極的に周知することで、1週間に1日の定時退勤日の実施を徹底する。 ・職員各自が、毎月の時間外勤務集計記録を確認しながら、時間外勤務の上限を（45時間）超えないように勤務時間の調整に取り組む。		・		・		・	
	○勤務時間の適正化	○会議や事務の効率化を図り、教職員が児童に向き合う時間を確保する。 ○定時退勤日の周知を徹底し、実施率を90%以上にする。	・会議時間の設定や事前の資料配布等を確実に行う。 ・週１回の定時退勤日の徹底と出退勤システムの活用により、ワークライフバランスを整える。		・		・		・	

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組 評価項目	重点取組 重点取組内容	重点取組 成果指標 （数値目標）	具体的取組	中間評価 進捗度（評価）	中間評価 進捗状況と見通し	最終評価 達成度（評価）	最終評価 実施結果	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 意見や提言	主な担当者
◎志を高める教育	○自らの夢や目標の実現に向けて努力する態度を育む。	○学校教育目標「にこ・きび・はき・どん」の児童の認知の割合を100%にする。 ○1年間を通して、学校教育目標である「にこ・きび・はき・どん」を実行できたと回答する児童を80%以上にする。 ○児童にアンケートを実施し、「自分の目標に向かって進んで取り組むことができた」と回答する児童を3.4/4.0ポイント以上にする。 ○児童にアンケートを実施し、「掃除や給食当番、係活動を自分から進んで取り組んでいる」と回答する児童を3.4/4.0ポイント以上にする。	・様々な教育活動における指導場面で、「にこ・きび・はき・どん」と関連付けた支援・指導を行う。 ・児童に達成可能な目標を立てさせ、目標達成に向け活動できるよう指導や支援を行うようにする。 ・掃除や給食当番、係活動に責任をもち、友達と協力して活動させ、やり遂げたことを発表する場や認め合う活動を設定し、自己有用感や自己肯定感をもたせる。		・		・		・	
○開かれた学校づくり	○家庭や地域との連携	○学校だよりを月１回以上発行し、学校ホームページの更新を定期的に行い、学校教育の情報を公開する。	・学校だよりの発行、学校ホームページの更新を月１回以上行い、学校教育の情報を多方面に発信する。		・		・		・	
○特別支援教育の充実	○特別支援教育の充実	○月に1回以上は特別支援委員会等を開催し、教員間で情報共有を行い、特別支援教育の充実に努める。	・子どもたちが安定した学校生活を送れるように、一人一人が主人公の学校づくりに努め、常に児童に寄り添った指導を心がける。							
○教育相談の充実	○教育相談の充実	○教育相談日の周知を積極的に行い、学年が偏ることなく面談を実施する。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用を前年度比10%増を目指す。	・校内体制を整備するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの職務の周知を積極的に行い、様々な悩みを抱える児童、保護者に対して、きめ細かく対応する。				・		・	

●・・・県共通　○・・・学校独自　◎・・・志を高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・